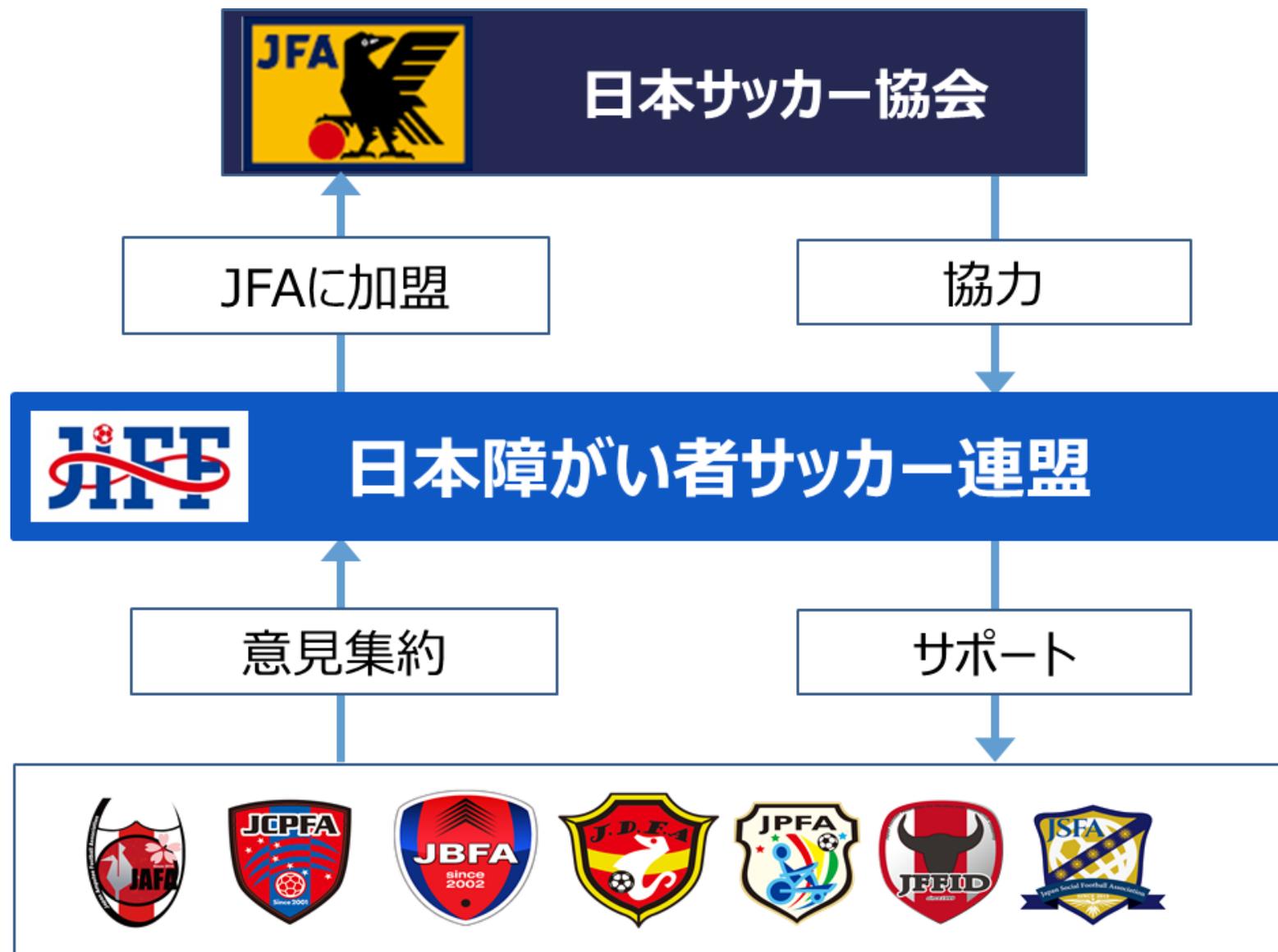


サッカーなら 障害も 超えられる。



～多様なサッカーで共生社会を目指す～

2024年3月15日
一般社団法人日本障がい者サッカー連盟



国内の障がい者サッカー競技団体と種目について

国内には**7つ**の障がい者サッカー競技団体があり、合わせて**10の競技**がある。
各競技に**障がい特性に応じたルール変更や道具の使用などの工夫**がある。

競技団体名	障がい種別		競技名
日本アンプティサッカー協会	身体障がい	切断障がい	アンプティサッカー
日本CPサッカー協会	身体障がい	脳性まひ	CPサッカー（脳性麻痺者 7 人制サッカー）
日本電動車椅子サッカー協会	身体障がい	重度障がい	電動車椅子サッカー
日本ブラインドサッカー協会	身体障がい	視覚障がい	全盲：ブラインドサッカー（5人制サッカー） 弱視：ロービジョンフットサル
日本ろう者サッカー協会	身体障がい	聴覚障がい	デフサッカー（ろう者サッカー） デフフットサル（ろう者フットサル）
日本知的障がい者サッカー協会	知的障がい		知的障がい者サッカー 知的障がい者フットサル
日本ソーシャルフットボール協会	精神障がい		ソーシャルフットボール（フットサル）

国内の障がい者サッカー競技団体と種目について

現在、日本代表は**15カテゴリー**あり、それぞれ国際大会がある。

現状、パラリンピック種目はブラインドサッカー男子（5人制サッカー）の1カテゴリーのみ。

競技団体名		日本代表カテゴリー
日本アンプティサッカー協会	1	アンプティサッカー日本代表
日本CPサッカー協会	2	CPサッカー男子日本代表、CPサッカー女子日本代表
日本電動車椅子サッカー協会	1	電動車椅子サッカー日本代表（男女混合）
日本ブラインドサッカー協会	3	ブラインドサッカー男子日本代表、ブラインドサッカー女子日本代表 ロービジョンフットサル日本代表
日本ろう者サッカー協会	4	デフサッカー男子日本代表、デフサッカー女子日本代表 デフフットサル男子日本代表、デフフットサル女子日本代表
日本知的障がい者サッカー協会	3	知的障がい者サッカー男子日本代表 知的障がい者サッカー女子日本代表 知的障がい者フットサル日本代表
日本ソーシャルフットボール協会	1	ソーシャルフットボール日本代表（男女混合）

その他

7つの競技団体が統括する10競技以外にも、
国内外にはさまざまなサッカーがあり、多様な人達が楽しんでいる。

- 小人症 : ドワーフフットボール (世界各国)
- 肢体不自由 : スケートサッカー (ガーナ、ナイジェリア、他)
- 歩行器 : フレームフットボール (イギリス、国内でも)
- ダウン症 : ダウンシンドロームフットボール (イギリス)
- 様々な障がい児 : PAN フットボール (イギリス)
- 発達障がい : 日本発達支援サッカー協会 (広島県)、他
- 手動車椅子 : 車いすサッカー (沖縄県)
- 障がい有無混合 : インクルーシブフットボール (JIFF、他)
- 高齢者等 : ウォーキングフットボール (イギリス、日本、他)
など



ドワーフ
フットボール



スケート
サッカー



フレーム
フットボール

※写真出典 : <https://www.parafootball.com/>

①

7つの障がい者サッカー競技団体の支援

②

共生社会の実現に向けた活動

③

パートナーシップと社会連携

① 7つの障がい者サッカー団体の活動支援

障がい者サッカー日本代表チームへ 統一ユニフォームを提供（2018年～2022年）



2023年4月～ JFA日本代表ユニフォーム順次着用



障がい者サッカー共同事務局を運営 (JFAハウス内)

2017年～ 資金的な支援
(JIFF補助金制度)



2020年～ オフィス支援・人的支援
(共同事務局)

障がい者サッカー情報をまとめた 公式サイトへの運用・充実

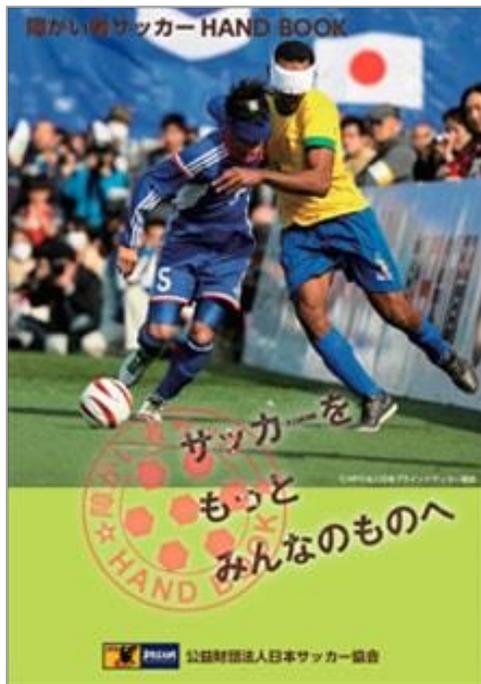
2019年～ JIFF公式サイトをリニューアル
7団体との自動連携／チーム検索機能

2021年～ 英語版サイトを運用開始

2022年～ ショートムービーを制作
サッカースタジアム、
デジタルサイネージ等
放映地域拡大



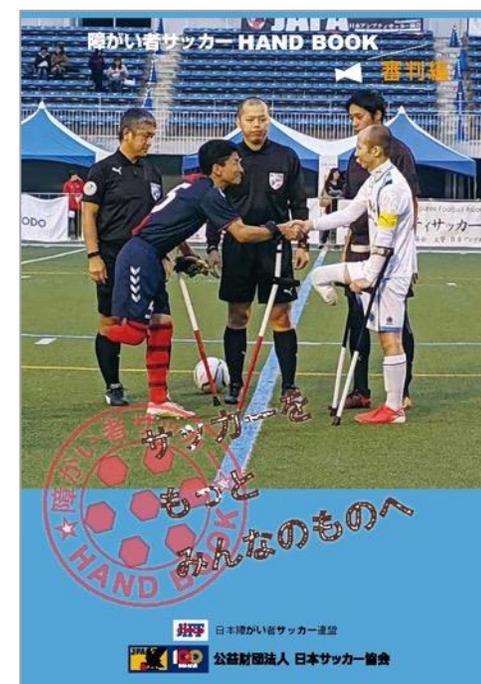
JFAと連携した各種媒体制作・協力 サッカーファミリーへの展開



障がい者サッカーについて
2017年～



サッカーファミリー向け
2021年～



審判向け
2022年～

② 共生社会の実現に向けた活動

- 誰もが、いつでも、どこでもサッカーを楽しめる環境づくり
- 社会にある生きづらい壁を取り除く取り組み

障がいの有無に関わらずみんなで楽しむ インクルーシブフットボールフェスタ継続開催

2016年～ 在京Jリーグ・Fリーグ・
なでしこリーグクラブ等の協力を
得て毎年開催 ※2020年はオンライン

地域が広島、茨城、神奈川へと拡大
WEリーグクラブ、百年構想クラブ、
障がい者サッカーチームによる協力

2021年～ オンライン・対面の同時開催継続



JFA公認指導者に対する 障がい者サッカー活動への参加促進

2017年～ JFA公認指導者向けにJFAが
障がい者サッカーコースを導入
「JIFF指導者登録制度」開始

2023年度 JIFF登録指導者が
新規で74名、
累計608名（2024年3月13日時点）



障がい理解を深める小・中学校向け教育プログラム

2019年度 プログラム開発、トライアル開始

※ロービジョン、デフサッカーの2競技のプログラム実施

2023年度 実施校の一般公募を初実施

115件実施し、3,594人が体験

※CPサッカー、ソーシャルフットボールプログラムを新たに開発し提供



障がい者サッカーを活用した 企業向け研修・体験・講演プログラムの提供

2017年度～ 7競技団体と連携し
研修・体験・講演プログラム開始

2022年度 eラーニングプログラム
「サッカーを通じた障害理解」開発
パートナー企業様、サッカー指導者
向けに提供を開始



③パートナーシップと社会連携

JFAとの連携



障がい者サッカー連携会議による ネットワーク構築と組織づくり

2014年



- JFAグラスルーツ宣言

2015年～



地域/都道府県サッカー協会

障がい者サッカー7競技団体

- 各協会内に障がい者サッカー担当者を設置
- 全国障がい者サッカー担当者会議

2016年



2017年～



地域/都道府県サッカー協会



障がい者サッカー7競技団体

- 9地域障がい者サッカー担当者会議

2019年～



地域/都道府県サッカー協会



障がい者サッカー7競技団体

障がい者サッカーチーム

Jクラブ等

- 9地域障がい者サッカー連携会議
- 全国障がい者サッカー連携会議
(2022年～)



※2019-20年
スポーツ庁委託事業

35都道府県で
障がい者サッカーを管轄する
組織・会議体が設置される

企業/団体との連携

JIFFパートナー：8社

賛同パートナー：3社

教育コンテンツ開発パートナー：1社

サブライザー・ヒスパートナー：5社

メディアパートナー：1社

アライアンスパートナー：1社

支援団体：1団体

助成団体：1団体

協力協定：2団体

※2024年3月現在

JIFFパートナー「クオールホールディングス(株)」との 価値共創事業（スポーツ庁委託事業）

「スポーツ庁委託事業『令和5年度障害者スポーツ推進プロジェクト』（障害者スポーツの実施環境の整備等に向けたモデル創出事業）」として開催。主催のクオールホールディングス株式会社、JIFF、開催地域の自治体が連携し障がい者スポーツの環境整備に取り組むとともに、オープンスペースを活用した障がい者スポーツ体験および健康イベントを行うことで、健康増進および障がい者スポーツへの理解・支援の促進を目指す。

第1回：2023年10月7日（土）神奈川県川崎市

「歩いてシュート！だれでもウォーキングフットボール かわさき」

第2回：2024年1月14日（日）広島県江田島市

「歩いてシュート！だれでもウォーキングフットボール江田島」

第3回：2024年3月10日（日）愛媛県今治市

「歩いてシュート！だれでもウォーキングフットボール今治」



港区との協働事業「障がい者サッカーレガシーマッチ 2024@港区スポーツセンター」

2024年3月2日（土）に東京都港区主催、一般社団法人日本障がい者サッカー連盟（JIFF）主管で「障がい者サッカーレガシーマッチ2024」を港区スポーツセンターメインアリーナ（東京都港区）にて開催。

- ・ 電動車椅子サッカーの親善試合
- ・ ブラインドサッカーの親善試合
- ・ 「デフリンピック」の日本開催を見据え、デフサッカーの仲井健人選手と元サッカー日本代表の鈴木隆行氏による「サッカーを通じた共生社会づくり」をテーマとしたトークショー
- ・ 障がい者サッカー体験
- ・ 障がい者スポーツ関連の展示



サッカーから 共生社会の実現を